

令和3年度 大阪商業大学堺高等学校 学校評価

1 めざす学校像

建学の理念・校訓である「誠実」で「不撓不屈の精神」を有した生徒を育み「世に役立つ人物の養成」が実現できる学校をめざす。
(1) 生徒の人権・人格・個性が尊重され、生き生きと学校生活を送る中で学力の獲得、マナーやモラルの改善など人間的成長をはかり、豊かな人格を形成できる学校。
(2) 地域に貢献し、支える中で、建学の理念を地域から活躍・発信し、生きる喜びが実感できる体験を通して、時代と社会に必要とされる教育機関として、ゆるぎない地位を占める学校。
(3) 教職員、生徒、保護者にとって、ここでの出会いと学びが明るく楽しく、豊かなところが育ち、家庭や地域の幸福へとつながる他に類を見ない学校。

2 中期的目標

- 1 学力と道徳心を備えた社会に有用な豊かな人格の育成。
 - (1) 各コースの特色を生かした教育課程を編成し、生徒の学習意欲の向上を図る。
 - ア 公開授業等を活用して「生徒自ら取り組む授業」への改善を図る。
 - ※ 生徒の「授業は内容が充実し、わかりやすく展開されている」(R2の85%をR3も85%以上を維持する)
 - イ 外部機関や他校の研究授業・研修に積極的に参加するよう奨励し、自ら学び続ける教職員集団を育む。
 - ※ 外部機関や他校の研究授業・研修に20人以上の参加。校内研修会で1度は全員が学習する。
 - ウ 生徒の多様な学びの要望に応える授業やカリキュラム、課外プログラムの提供に努める。
 - ※ 生徒の「進路に関する必要な情報が適切になされている」(R2の88%をR3には90%以上に)
 - ※ 生徒の「授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している」(R2の80%をR3も80%以上を維持する)
 - エ 進路に対する目的意識向上を図り、希望進路の達成を図る。
 - ※ 生徒の「希望する進路が達成できる」(R2の76%をR3も75%以上を維持する)
 - (2) 特別教育活動など多様な体験活動を通して達成感で自尊感情と規範意識を高める。
 - ア 頭髪、服装、遅刻指導を推進する。
 - ※ 生徒の「校則・規則など学校の決まりは妥当である」(R2の66%をR3には75%以上に)
 - ※ 年間生徒一人当たり遅刻回数R2は3.1回をR3には3回未満にする。
 - イ SNSの普及による対人トラブルや人権侵害についての学習を推進する。
 - ※ このテーマに関連した新入生対象の学習会を年間3回以上実施する。
 - ウ 朝夕の立ち番指導であいさつや通学マナーの向上を図る。
 - ※ 生徒の「生徒はマナーを守り、挨拶ができる」(R2の76%をR3も75%以上を維持する)
 - エ 体育祭、文化祭など生徒自治活動を推進し、学校行事の充実・発展を図る。
 - ※ 生徒の「体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力し合って取り組んでいる」(R2の91%をR3も90%以上を維持する)
 - オ クラブ活動の一層の活性化を図る。
 - ※ 教育活動推進部調査によるクラブ加入率(R2の53%をR3には55%以上に)
 - (3) 特別教育活動、教育相談の充実。
 - ア 特別なニーズを要する生徒に適切な対応を図れるよう教職員の研修を推進する。
 - ※ このテーマに関連した教職員向け研修会に3回、5人以上の参加。校内研修会で1度は全員が学習する。
 - イ 保護者、中学校、教育相談員、医療機関等との連携を密にし、多様な生徒への援助を図る。
 - ※ 生徒の「教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを知っている」(R2の61%をR3には65%以上に)
 - ウ 生徒情報を共有化し、3年間を見通してきめ細かい指導を行う。
 - ※ 教育相談室は130日以上開室(R2は120日)、全面接回数は400回以上を維持(R2は416回)
- 2 地域に開かれ信頼される学校づくりの推進。
 - (1) 勤労教育の実践を推進し、建学の理念を体得させる。
 - ア 勤労体験学習の一層の充実を図る。
 - ※ 2年生の「勤労教育によく取り組んでいる」(R2の94%をR3も90%以上を維持する)
 - イ 近隣の幼稚園、小学校の農業体験(総合学習)のサポートを通して連携強化を図る。
 - ※ 1幼稚園、1小学校あわせて年間30時間以上の農業体験に取り組む。
 - ウ 収穫感謝祭を通して近隣住民に本校の教育活動への理解と協力を推進する。
 - ※ 収穫感謝祭の参加者を400人以上(R2は外来者辞退)
 - (2) 地域社会の一員としての自覚と責任感を持ち、活動を通して他者を思いやる心を養う。
 - ア 堀上町一斉清掃へのボランティアを継続し地域の美化向上に努める。
 - ※ 保護者の「商大堺は地域から信頼される学校である」(R2の82%をR3には90%以上に)
 - イ 堺市内の各種イベントに積極的に参加・協力し、地域のコミュニティや教育づくりに貢献する。
 - ※ 堺市立小学校連合運動会、中区区民フェスタ、「なかじよまちづくりミーティング」など堺市内の各種イベントにのべ100名以上参加。
 - (3) 学校情報の配信を充実させる。
 - ア オープンスクールや学校説明会、トワイライト説明会の内容を充実させる。
 - ※ オープンスクールの参加者を500名以上(R2は527名)、学校説明会の参加者を600名以上(R2は503名)
 - トワイライト説明会のはのべ8回、参加者は100組以上(R2は80組)
 - イ 学校ホームページ、学校案内、meets up!、さくら連絡網などを更新、活用し学校情報の積極的な配信に努める。
 - ※ 学校ホームページは週1回以上更新。さくら連絡網の在籍生徒保護者の90%以上の登録。(R2は87%)
 - (4) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育を推進する。
 - ア 耐用年数、生徒数増加に見合った学校施設等の諸条件の整備・改善を推進する。
 - ※ 生徒・保護者の「学校の施設は充実している」(R2生徒の54%・保護者の58%をR3には65%以上に)
 - イ 防災教育や危機管理体制を再構築する。
 - ※ 年2回以上の全校避難訓練を実施。
- 3 生徒、保護者から信頼され、帰属意識を高める学校づくりの推進。
 - (1) 生徒、保護者、地域から信頼される教職員集団を育む。
 - ア 学力向上、生徒自治活動、教育相談などあらゆる教育活動を教職員が集団で取り組む体制を推進する。
 - ※ 生徒の「先生は協力しあっている」(R2の83%をR3には85%以上に)
 - ※ 生徒の「先生方は気軽に相談できる雰囲気である」(R2の84%をR3には85%以上に)
 - ※ 生徒の「商大堺での高校生活に満足している」(R2の84%をR3には85%以上に)
 - イ 生徒による学校内外の清掃・美化意識を高めるよう推進する。
 - ※ 生徒、保護者の「校舎内は清掃がなされており、良い環境である」(R2生徒の73%・保護者の77%をR3には75%以上に)

自己評価アンケートの結果と分析・学校評価委員会からの意見

自己評価アンケートの結果と分析 [令和4年2月実施分]	学校評価委員会からの意見
<p>(課題1)</p> <p>《生徒》 校則・規則など学校の決まりは妥当である 73% 生徒は校則を守っている 66%</p> <p>《保護者》 校則・規則など学校の決まりは妥当である 82% 生徒は校則を守っている 80%</p> <p>《教員》 校則・規則など学校の決まりは妥当である 72% 生徒は校則を守っている 32% ⇒校則について、生徒・保護者と教員の差は少し縮まったが依然として大きい。社会状況の変化に応じて、校則について考えていくことも必要であり、生徒・保護者・教員での共通認識を持っていくことが重要である。</p> <p>(課題2)</p> <p>《生徒》 授業は内容が充実し、わかりやすく展開されている 87%</p> <p>《保護者》 授業は内容が充実し、わかりやすく展開されている 86%</p> <p>《教員》 授業の内容を充実させわかりやすく展開する工夫がなされている 63% ⇒教員の自己評価は低く、まだまだ改善の余地があると考えている教員が多いことがわかる。次年度には、ICT機器の導入があり、新たな授業形態を見据え、研究していく必要がある。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・「校則を守っている」に関して、教員のポイントは低く、子どもは守っていると感じ、また保護者の集計も約8割が自分の子どもが校則を守っているという結果になっていました。 ・親世代の教育と今の教育と異なるのは、理解しているつもりです。先生から厳しく指導された子どもが不安を感じたなどの話も聞きますが、例えば、先生の指示に対して返事が小さかったり、ダラダラ行動していたりしたら、注意されたり、やり直しをされたり、言う事を聞かなければ、帰すぐらいして、保護者も一緒に現状を共有しなければならぬのかなと思います。 ・校則がある事すら無視されているようにも思えるごく一部の生徒が見受けられます。今の子供達なので仕方ないのかもしれないですが、少し残念な気持ちになりました。主人も息子も卒業生です。めざす学校像を実現できるように、もう少し生徒達をご指導してあげて頂けたら嬉しいです。 ・他校においては、ICT教育が進められております。本校においても早急にICT教育環境を整備頂き、新たな授業形態への対応を進めて頂けたら幸いです。
<p>《生徒》 商大塚に来て自分は成長した／している 86% 勤労教育によく取り組んだ(2年) 93%</p> <p>《保護者》 商大塚高校は、地域から信頼される学校である。 85%</p> <p>《教員》 商大塚は地域から信頼される学校である。 57% ⇒生徒・保護者からの満足度が高い学校ではあるが、教員の自己評価は低い。日常的に近隣の方から苦情の声を受けることも多いことが原因ではないだろうか。教員のポイントが高くなるのが、地域に支えられているという実感につながるとともに、本校の魅力アップにつながるのではないだろうか。</p> <p>(課題)</p> <p>《生徒》 学校の施設は充実している 56% 体育館、グラウンドは、使いやすい 79% 図書室は気軽に利用できる 67% 食堂は利用しやすい 79%</p> <p>《保護者》 学校の施設は充実している 50%</p> <p>《教員》 学校の施設は充実している 12% ⇒施設・設備は、生徒ポイントは少し上昇しているものの、大きな課題である。クラブ活動場所や部室の不足、生徒数に合わない食堂の規模、各設備の老朽化など、早急な対応が必要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・入学者が減少していることについて、学校の魅力をアピールすることで少しでも商大塚に興味を持ってもらえる学校運営に期待します。 ・勤労学習や地域との取り組みにも生徒自身が意欲的に活動をしているように思います。 ・学校施設の老朽化により、他の私立学校と比べて見劣りしている。すぐには改善できないが、それでも魅力のある学校として商大塚は何を生徒に提供していくことができるのか。 ・教員アンケートが低く、教員の方たちが指導しにくい環境ではないのかなと思いました。コロナウィルスが蔓延している中でも、子ども達のために頑張ってくださいている先生、子ども達の為にも、私はまず安心安全な環境づくりが大事だと思います。 ・エアコンの増備、教室の床の統一、靴箱の設置および二足制の導入などを検討してほしい。
<p>《生徒》 先生方は気軽に相談できる雰囲気である 85%</p> <p>《保護者》 本校教員に、気軽に相談できる雰囲気がある 84%</p> <p>《教員》 生徒は先生に相談しやすく、親身になって相談に乗っている 85% ⇒三者とも高い数値であるが、個別に配慮の必要がある生徒もおり、保護者の方と連携し、ともに寄り添っていくことが重要である。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・先生方と生徒との距離がとても近く親身になって進学、指導にあたっていただいているのが解りました。 ・教育熱心で生徒と信頼関係がある私立らしい学校だと思います。 ・校長先生をはじめ担任の先生、諸先生方が子ども一人ひとりに対して向き合ってください、様々な行事と一緒に取り組んでくださっているからこそ、安心して子ども達をお願いできております。 ・今の在校生(特に三年生)は、コロナと言う未曾有のウィルスに振り回された子供達です。入学式もなく行動や学校生活も制限され不安やストレスを溜めながらの学校生活になりました。それらを踏まえ先生方々も大変なご苦労があったと思います。本当に有り難う御座いました

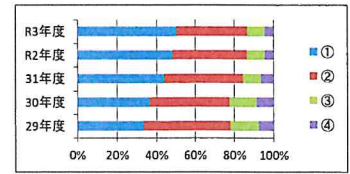
	今年度の重点目標	具体的な取組計画・内容	総括・自己評価	
1 学力と道徳心を備えた社会に有用な豊かな人格の育成。	(1) 各コースの特色を生かした教育課程を編成し、生徒の学習意欲の向上を図る。	ア 公開授業等を活用して「生徒自ら取り組む授業」への改善を図る。	生徒アンケートは2ポイント上昇しており、生徒には満足感を与えられている。しかし、教員アンケート「授業内容をわかりやすく展開する工夫」では63%と低い値であり、ICT教育の導入を含め、教員側の授業展開はまだ改善の余地があるといえる。(○)	
		イ 外部機関や他校の研究授業・研修に積極的に参加するよう奨励し、自ら学び続ける教職員集団を育む。	外部機関や他校の研究授業・研修に20人以上の参加。校内研修会で1度は全員が学習する。(△)	
		ウ 生徒の多様な学びの要望に応える授業やカリキュラム、課外プログラムの提供に努める。	生徒の「進路に関する必要な情報が適切になされている」は90%以上 (R2は88%)。「授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している」は80%以上 (R2は80%)	
		エ 進路に対する目的意識向上を図り、希望進路の達成を図る。	生徒の「希望する進路が達成できる」は75%以上 (R2は76%)	
	(2) 特別教育活動など多様な体験活動を通して達成感で自尊感情と規範意識を高める。	ア 頭髪、服装、遅刻指導を推進する。	生徒アンケート「校則・規則など学校の決まりは妥当である」は75%以上 (R2は66%)。年間生徒一人当たり遅刻回数を3回未満にする (R2は3.1回)	生徒アンケートは7ポイント上昇している。生徒指導部が中心となり、校則違反のあった生徒に対しても指導する中で理解させることを重視したり、また生徒指導部通信を用いて全生徒に対し「なぜこの校則があるのか」を伝えることで、生徒の意識が高まっているのではないかと。また、遅刻回数は年間一人当たり3.1回と昨年と変化なし。累積回数による遅刻指導が定着し総遅刻回数は減少しているが、特定の生徒が遅刻回数を増やしており、生活改善に向け家庭との連携が不可欠である。(○)
		イ SNSの普及による対人トラブルや人権侵害についての学習を推進する。	このテーマに関連した新入生対象の学習会を年間3回以上実施。	昨年と同じく学年集会の実施回数が少ないため、映像等を用いた説明は不足している。しかし、各教室で担任から丁寧な説明ができるよう、プリントを準備するなど、生徒への啓発は十分行っている。生徒たちにとって、SNSは必然なものとなっているがゆえ、広い世界とつながっているという意識は希薄であり、自分のつぶやいた一言により大きな問題となる事例もあり、恒常的に指導し続けていくことが必要である。(△)
		ウ 朝夕の立ち番指導であいさつや通学マナーの向上を図る。	生徒の「生徒はマナーを守り、挨拶ができる」は75%以上 (R2は76%)	生徒アンケートは変化なし。生徒会が中心となりマナー向上に向けた月間テーマを設定し、掲示や放送での呼びかけを行っていることが、高ポイント維持につながっている。しかし、身勝手に自己中心的な行動を行う生徒も見られるため、マナーやルールを守らせる前に理解させることが重要と考える。(○)
		エ 体育祭、文化祭など生徒自治活動を推進し、学校行事の充実・発展を図る。	生徒の「体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力し合っていて取り組んでいる」は90%以上 (R2は91%)	生徒アンケートは変化なし。商大堺祭としての実施も2年目となり、活動に制約はあるものの、その中でできることを模索しながら十分に楽しく行事を行えている。コロナ禍のため、保護者の方を含めた外来者の方に見ていただけないのは残念であり、生徒たちの力みなき活動風景をどのように伝えるか検討していく必要がある。(◎)
		オ クラブ活動の一層の活性化を図る。	教育活動推進部調査によるクラブ加入率は55%以上 (R2は53%)	クラブ加入率は4ポイント上昇している。コロナ禍が続き、大会の中止や縮小など、成果がなかなか発揮できない中、スポーツコース生だけでなく多くの生徒が、運動系・文化系の各クラブで個性を伸ばすため、可能な限りの努力を行っている。(◎)
		(3) 特別教育活動、教育相談の充実。	ア 特別なニーズを要する生徒に適切な対応を図れるよう教職員の研修を推進する。	このテーマに関連した教職員向け研修会に3回、5人以上の参加。校内研修会で1度は全員が学習する。
イ 保護者、中学校、教育相談員、医療機関等との連携を密にし、多様な生徒への援助を図る。	生徒・保護者の「教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを知っている」は65%以上 (R2は生徒61%、保護者51%)。		生徒アンケートは変化なし。保護者アンケートは11ポイント上昇。悩みを抱えているのは生徒に限らず、思春期の子供を抱える保護者も同様であり、地域社会の中で悩みを相談できる数少ないツールとして教育相談が活用されている。しかし、自己表現の苦手な生徒も多く、カウンセラーにつなぐことができていない生徒もいると考えられ、生徒・保護者への告知と相談のしやすさをさらに考えていく必要がある。(△)	
ウ 生徒情報を共有化し、3年間を見通してきめ細かい指導を行う。	教育相談室は130日以上開室 (R2は120日)、全面接回数は400回以上 (R2は416回)。		開室日数133日、面接回数523回といずれも増加している。コロナ禍による社会不安もあり、精神的な落ち着きを求めた生徒・保護者の来室が増加したと考えられる。また、カウンセラーと養護教諭や担任等の学年教員は、常に情報を共有し、生徒の細やかな変化を見逃さないように努め、進級・卒業につながるようチームとして生徒との関わりを行えている。(○)	

2 地域に開かれ信頼される学校づくりの推進。	(1) 勤労教育の 実践を推進 し、建学の 理念を体得 させる。	ア 勤労体験学習の一層の充実を図る。	2年生の「勤労教育によく取り組んでいる」は90%以上 (R2の2年生 94%)。	2年生の生徒アンケートは1ポイント減少だが、高い数値を維持している。作物を育てる愛情が「こころ」の成長につながっており、日常「当たり前」と見過ごしてしまうことにも目を向けられる大人に成長していく大事な体験の機会となっている。(◎)
		イ 近隣の幼稚園、小学校の農業体験(総合学習)のサポートを通して連携強化を図る。	1 幼稚園、1 小学校あわせて年間30時間以上の農業体験を実施。	八田荘幼稚園の来校はかなわなかったが、平岡小学校の農業体験学習を、学校長が本校や小学校にて実施。講義回数はコロナ前に比べ大幅に減っているが、四季の移り変わりを農園で感じ、土に触れ汗を流すことが子供たちの「こころ」の安定につながっているのではないだろうか。また、幼稚園や小学校との連携が、保護者を含めた地域住民との連携につながっており、これからも丁寧にこの活動を継続していく必要がある。(○)
		ウ 収穫感謝祭を通して近隣住民に本校の教育活動への理解と協力を推進する。	収穫感謝祭に400人以上参加。(R2は外来者辞退)	収穫感謝祭については、昨年と同じく外来者の入場は辞退した。本校の教育活動を近隣住民の方にわかりやすく伝えることができるイベントのため、次年度は開催できることを願っている。幼稚園・小学校との連携とともに、近隣住民の方に本校を理解していただくことが、地域の中の商大塚としてみなさまに支えられることにつながるため、コロナ禍でどのように地域と連携するか考えていく必要がある。(△)
	(2) 地域社会の一員としての自覚と責任感を持ち、活動を通して他者を思いやる心を養う。	ア 堀上町一斉清掃へのボランティアを継続し地域の美化向上に努める。	保護者の「商大塚は地域から信頼される学校である」は90%以上 (R2は82%)	保護者アンケートは2ポイント上昇。コロナ禍で各行事に保護者の方に参加していただけない状況であるが、担任を中心に保護者と連絡を密にとれていることが、学校への信頼につながっているといえる。堀上町一斉清掃はコロナ禍で参加できないなど、地域との連携が薄くなってきているため、何ができるのかを考え、地域とともに生きていくことを考えなければならない。(△)
		イ 堺市内の各種イベントに積極的に参加・協力し、地域のコミュニティや教育づくりに貢献する。	堺市立小学校連合運動会、中区区民フェスタ、「なかじよまちづくりミーティング」など堺市内の各種イベントにのべ100名以上参加。	各種イベントが中止となり、地域コミュニティへの参加やお手伝いはかなわなかった。(△)
	(3) 学校情報の 配信を充実 させる。	ア オープンスクールや学校説明会、トワイライト説明会の内容を充実させる。	オープンスクールの参加者を500名以上 (R2は527名)、学校説明会の参加者を600名以上 (R2は503名)、トワイライト説明会のはのべ8回、参加者は100組以上 (R2は80組)	オープンスクールは1回実施で328名(8月はコロナ禍で中止)、学校説明会は4回実施で542名、トワイライト説明会は8回実施で80名の参加。コロナとの共存が進んだが、オープンスクールは1回の実施となり参加者数が大幅に減少した。また、コロナ禍での説明会実施のため、本校生徒の参加見合わせや時間短縮などにより、本校の明るさ・楽しさを十分に伝えきれていないことが、受験者数・入学者数の減につながっているのではないかと。限られた状況の中でどのように本校をアピールするか、検討していく必要がある。(×)
イ 学校ホームページ、学校案内、meets up!、さくら連絡網などを更新、活用し学校情報の積極的な配信に努める。		学校ホームページは週1回以上更新。さくら連絡網の在校生保護者の90%以上の登録。(R2は87%)	ホームページ更新は、クラブ活動戦績や行事の報告、入試関連の連絡など、頻繁に行っている。これまで、学校案内やmeets up!などの紙媒体による広報を中心に行ってきたが、よりSNSを含めたWEBに力を注ぎ、動画を用いて日常の広報を行える仕組みを検討する必要がある。また、保護者への連絡ツールを「さくら連絡網」に変更したため、在校生については新システムへの移行となったが全体で95%の登録となり、行事予定や各種プリントをPDFファイルとして届けることができた。(◎)	
(4) 学校施設等の諸条件の整備と防災教育を推進する。	ア 耐用年数、生徒数増加に見合った学校施設等の諸条件の整備・改善を推進する。	生徒・保護者の「学校の施設は充実している」を生徒・保護者ともに65%以上 (R2は生徒54%・保護者58%)	生徒アンケートは2ポイント増加、保護者アンケートは8ポイント減少。年度末に全教室にWi-Fiが準備され、次年度にはプロジェクターの整備など、ICT環境は少しずつ進みだしている。しかし、校舎などの老朽化、狭小な食堂、不十分な空調設備の体育館など、安全・安心な学校教育を行える環境といえないため、少しずつでも改善に取り組みなければならない状況である。(×)	
	イ 防災教育や危機管理体制を再構築する。	年2回以上の全校避難訓練を実施。	6月は雨天のため避難誘導路の確認および学習、11月は避難訓練を実施した。また、9月に大阪880万人訓練に合わせた防災学習を予定していたが大阪府が中止したためプリントによる学習を実施した。1200名の生徒を災害から守るためには、避難訓練の時だけでなく、日常から意識を高めることが必要である。(○)	
3 生徒、保護者から信頼され、帰属意識を高める学校づくりの推進。	(1) 学力向上、生徒自治活動、教育相談などあらゆる教育活動を教職員が集団で取組む体制を推進する。	ア 学力向上、生徒自治活動、教育相談などあらゆる教育活動を教職員が集団で取組む体制を推進する。	生徒の「先生は協力し合っている」は85%以上 (R2は83%) 「先生方は気軽に相談できる雰囲気である」は85%以上 (R2は84%) 「商大塚での高校生活に満足している」は85%以上 (R2は84%)	「先生は協力し合っている」は変化なし、「先生方は気軽に相談できる雰囲気である」は1ポイント上昇、「商大塚での高校生活に満足している」は2ポイント上昇。生徒を育てていくためには、教員が連携し一丸となり、保護者とともに関わる必要があるため、高ポイントであるということは、うまく連携できているといえる。しかし、この数値に満足せず100%となるよう、さらなる努力が必要である。(○)
		イ 生徒による学校内外の清掃・美化意識を高めるよう推進する。	生徒、保護者の「校舎内は清掃がなされており、良い環境である」は75%以上 (R2は生徒73%・保護者77%)	生徒アンケートは3ポイント増加、保護者アンケートは3ポイントの減少。美化委員会を中心としたポスター作製などの啓発運動はあるが、全体としての美化意識が高まっているとは言えない。教室や廊下にゴミが落ちていることも見られ、自分の落としたゴミなら捨てるが他人のゴミなら放置するなど、困難ではあるが環境を整備するために自己犠牲できる生徒を育てていけるよう、勤労教育や日常のホームルームで丁寧に指導を行っていききたい。(△)

28 勤労教育によく取り組んだ／取り組んでいる

	(1)	%	(2)	%	(3)	%	(4)	%	無答	%	計	%
3年生	233	(55.7)	149	(35.6)	27	(6.5)	8	(1.9)	1	(0.2)	418	100.0
2年生	213	(57.9)	129	(35.1)	20	(5.4)	5	(1.4)	1	(0.3)	368	100.0
1年生	148	(37.7)	144	(36.6)	59	(15.0)	40	(10.2)	2	(0.5)	393	100.0
合計	594	(50.4)	422	(35.8)	106	(9.0)	53	(4.5)	4	(0.3)	1179	100.0
29年度	463	(33.6)	607	(44.0)	198	(14.4)	104	(7.5)	7	(0.5)	1379	100.0
30年度	414	(36.5)	459	(40.5)	155	(13.7)	98	(8.6)	8	(0.7)	1134	100.0
31年度	521	(42.4)	479	(38.9)	106	(8.6)	77	(6.3)	47	(3.8)	1230	100.0
R2年度	565	(48.0)	448	(38.0)	107	(9.1)	54	(4.6)	4	(0.3)	1178	100.0

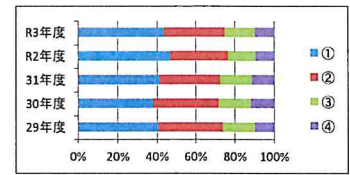
年度	(1)	(2)	(3)	(4)
29年度	(33.6)	(44.0)	(14.4)	(7.5)
30年度	(36.5)	(40.5)	(13.7)	(8.6)
31年度	(42.4)	(38.9)	(8.6)	(6.3)
R2年度	(48.0)	(38.0)	(9.1)	(4.6)
R3年度	(50.4)	(35.8)	(9.0)	(4.5)



29 希望する進路が達成できた／進路が決まっている

	(1)	%	(2)	%	(3)	%	(4)	%	無答	%	計	%
3年生	278	(66.5)	120	(28.7)	13	(3.1)	5	(1.2)	2	(0.5)	418	100.0
2年生	126	(34.2)	129	(35.1)	75	(20.4)	37	(10.1)	1	(0.3)	368	100.0
1年生	107	(27.2)	122	(31.0)	89	(22.6)	74	(18.8)	1	(0.3)	393	100.0
合計	511	(43.3)	371	(31.5)	177	(15.0)	116	(9.8)	4	(0.3)	1179	100.0
29年度	559	(40.5)	457	(33.1)	223	(16.2)	138	(10.0)	2	(0.1)	1379	100.0
30年度	432	(38.1)	379	(33.4)	185	(16.3)	136	(12.0)	2	(0.2)	1134	100.0
31年度	502	(40.8)	380	(30.9)	197	(16.0)	137	(11.1)	14	(1.1)	1230	100.0
R2年度	548	(46.5)	350	(29.7)	162	(13.8)	113	(9.6)	5	(0.4)	1178	100.0

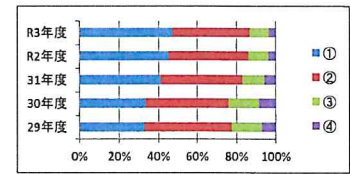
年度	(1)	(2)	(3)	(4)
29年度	(40.5)	(33.1)	(16.2)	(10.0)
30年度	(38.1)	(33.4)	(16.3)	(12.0)
31年度	(40.8)	(30.9)	(16.0)	(11.1)
R2年度	(46.5)	(29.7)	(13.8)	(9.6)
R3年度	(43.3)	(31.5)	(15.0)	(9.8)



30 商大堺に来て自分は成長した／している

	(1)	%	(2)	%	(3)	%	(4)	%	無答	%	計	%
3年生	233	(55.7)	150	(35.9)	24	(5.7)	10	(2.4)	1	(0.2)	418	100.0
2年生	150	(40.8)	155	(42.1)	44	(12.0)	18	(4.9)	1	(0.3)	368	100.0
1年生	171	(43.5)	160	(40.7)	46	(11.7)	14	(3.6)	2	(0.5)	393	100.0
合計	554	(47.0)	465	(39.4)	114	(9.7)	42	(3.6)	4	(0.3)	1179	100.0
29年度	446	(32.3)	619	(44.9)	211	(15.3)	98	(7.1)	5	(0.4)	1379	100.0
30年度	381	(33.6)	479	(42.2)	174	(15.3)	98	(8.6)	2	(0.2)	1134	100.0
31年度	500	(40.7)	510	(41.5)	138	(11.2)	71	(5.8)	11	(0.9)	1230	100.0
R2年度	530	(45.0)	481	(40.8)	120	(10.2)	45	(3.8)	2	(0.2)	1178	100.0

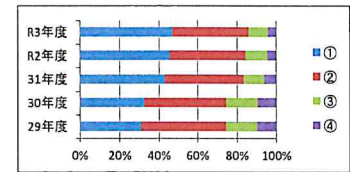
年度	(1)	(2)	(3)	(4)
29年度	(32.3)	(44.9)	(15.3)	(7.1)
30年度	(33.6)	(42.2)	(15.3)	(8.6)
31年度	(40.7)	(41.5)	(11.2)	(5.8)
R2年度	(45.0)	(40.8)	(10.2)	(3.8)
R3年度	(47.0)	(39.4)	(9.7)	(3.6)



31 商大堺での高校生活に満足できた／している

	(1)	%	(2)	%	(3)	%	(4)	%	無答	%	計	%
3年生	231	(55.3)	150	(35.9)	25	(6.0)	11	(2.6)	1	(0.2)	418	100.0
2年生	143	(38.9)	146	(39.7)	47	(12.8)	30	(8.2)	2	(0.5)	368	100.0
1年生	177	(45.0)	161	(41.0)	44	(11.2)	9	(2.3)	2	(0.5)	393	100.0
合計	551	(46.7)	457	(38.8)	116	(9.8)	50	(4.2)	5	(0.4)	1179	100.0
29年度	424	(30.7)	596	(43.2)	220	(16.0)	135	(9.8)	4	(0.3)	1379	100.0
30年度	367	(32.4)	477	(42.1)	181	(16.0)	108	(9.5)	1	(0.1)	1134	100.0
31年度	524	(42.6)	490	(39.8)	130	(10.6)	75	(6.1)	11	(0.9)	1230	100.0
R2年度	532	(45.2)	460	(39.0)	130	(11.0)	54	(4.6)	2	(0.2)	1178	100.0

年度	(1)	(2)	(3)	(4)
29年度	(30.7)	(43.2)	(16.0)	(9.8)
30年度	(32.4)	(42.1)	(16.0)	(9.5)
31年度	(42.6)	(39.8)	(10.6)	(6.1)
R2年度	(45.2)	(39.0)	(11.0)	(4.6)
R3年度	(46.7)	(38.8)	(9.8)	(4.2)



令和 3 年度 保護者アンケート集計結果

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

		①	②	③	④
1	学校の教育方針を理解している。	21.0	63.0	11.9	4.1
2	授業は内容が充実し、分かりやすく展開されている。	17.0	68.5	10.2	4.3
3	進路に関する必要な情報が適切に提供されている。	23.8	53.9	14.9	7.4
4	授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。	23.4	48.5	19.0	9.1
5	校則・規則など学校の決まりは妥当である。	37.2	44.6	10.6	7.6
6	本校教員に、気軽に相談できる雰囲気がある。	34.6	48.9	10.7	5.9
7	教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを知っている。	33.9	28.4	8.7	28.9
8	保護者会の活動は積極的に展開されている。	21.8	56.0	11.5	10.7
9	商大堺高校は、地域から信頼される学校である。	25.2	59.3	11.5	4.1
10	本校教員は協力しあっている。	31.2	55.8	9.3	3.7
11	学校の施設は充実している。	12.0	37.7	27.9	22.3
12	校舎内は清掃がなされており、よい環境である。	22.2	51.8	17.2	8.9
13	生徒は挨拶やマナーなど基本的な生活習慣ができています。	25.3	57.6	10.6	6.5
14	生徒は校則を守っている。	23.3	56.8	12.7	7.2
15	生徒は学習によく取り組んでいる。	16.1	54.0	22.1	7.8
16	クラブ活動が活発である。	52.4	40.1	5.8	1.7
17	体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力しあって取り組んでいる。	44.0	46.9	5.6	3.5
18	希望する進路が決まっている。	27.1	40.3	18.7	13.9
19	勤労教育によく取り組んでいる。	46.6	45.2	5.1	3.1

令和 3 年度 教員アンケート集計結果

①そう思う ②どちらかといえばそう思う ③どちらかといえばそう思わない ④そう思わない

		①	②	③	④
1	学校の教育方針に沿って教育活動を展開している。	23.3	51.7	18.3	6.7
2	授業の内容を充実させわかりやすく展開する工夫がなされている。	15.0	48.3	31.7	5.0
3	進路に関する必要な情報を、生徒・保護者に適切に提供している。	25.0	53.3	16.7	5.0
4	授業以外で、希望進路に沿った補講や講座が充実している。	21.7	36.7	30.0	11.7
5	校則・規則など学校の決まりは妥当である。	28.3	43.3	11.7	16.7
6	生徒は先生に相談しやすく、親身になって相談に乗っている。	36.7	48.3	11.7	3.3
7	教育相談員(カウンセラー)が来校し相談できるシステムを周知している。	41.7	45.0	8.3	5.0
8	生徒に関わる家庭への情報提供は十分に行われており、協力体制がとれている。	26.7	53.3	16.7	3.3
9	同僚の先生方には教育活動に関して気軽に相談できる。	33.3	41.7	15.0	10.0
10	商大堺は地域から信頼される学校である。	15.0	41.7	35.0	8.3
11	同僚の先生は信頼できる。	30.0	45.0	15.0	10.0
12	学校の施設は充実している。	3.3	8.3	16.7	71.7
13	生徒は挨拶やマナーなど基本的な生活習慣ができています。	8.3	45.0	25.0	21.7
14	生徒は校則を守っている。	0.0	31.7	43.3	25.0
15	生徒は学習によく取り組んでいる。	1.7	43.3	38.3	16.7
16	クラブ活動が活発である。	31.7	55.0	13.3	0.0
17	体育祭や文化祭などの学校行事に楽しく協力しあって取り組んでいる。	25.0	55.0	18.3	1.7
18	生徒は勤労教育によく取り組んでいる。	48.3	41.7	6.7	3.3
19	生徒は希望する進路が達成できている。	13.3	66.7	13.3	6.7
20	生徒は商大堺での高校生活に満足している。	15.0	60.0	18.3	6.7

2022年9月30日

2021年度学校評価に係る第三者評価委員会 議事録

日 時 : 2022年9月30日(金) 12:00~13:00
場 所 : 大阪商業大学堺高等学校 校長室
出席者 : 磯崎伸子(蜂田神社)
稲田美穂(八田荘幼稚園 園長)
土屋千紗(堺市教育委員会 学校教育部 教育課程課 グループ長)
皆見量政(株式会社阪和鳳自動車学校 会長)
吉野桂子(堀上北自治会 会長)
浅田 隆(大阪商業大学堺高等学校 校長)
河野定幸(同 副校長)
西田 博(同 教頭)
奥田国彦(同 教頭補佐)
奥山清高(同 事務長)
欠席者 : 守口 篤(医療法人旭医道会ひとねクリニック内科)
記 録 : 西嶋邦仁(大阪商業大学堺高等学校 事務室員)

【議 題】

本校の教育内容、及び自己評価報告への提言について

【内 容】

始めに、浅田校長より本校の教育方針並びに取組み等について説明がなされた。続いて、河野副校長より令和3年度学校評価の概要及び自己評価の内容について、各領域の詳細な説明がなされた。

説明を受け、各委員より以下の意見が出された。

(意 見)

① 昨今、社会的問題となっている SNS など、商大堺の現状や課題をお教えいただきたい。

[回答]

SNS については、安易な投稿により、個人情報流出の危険性やいじめなどに繋がるケースがある。また、肖像権や著作権といった問題が発生することも考えられる。本校では、校内でのスマートフォンの使用は禁止しており、生徒指導部が中心となり問題行動が発生しないよう啓発活動を行っている。

また、現状の課題としては、生徒の多様性や成人年齢引下げに伴う対応が挙げられる。特に今後は、生徒の多様性(生徒個々の個性)に沿った教育を推進していくことが急務と考え

ている。

- ② 安全安心なキャンパスづくり、校舎の老朽化への対応についてお教えいただきたい。

また、自転車通学の生徒が多数いるが、交通マナーや事故の危険性など生徒にどのような指導を行っているかお教えいただきたい。

[回答]

耐震補強工事については、全校舎完了している。校舎の老朽化への対応については、検討を始めたところである。

また、約 9 割の生徒が自転車通学であることから、学校独自の自転車運転免許制度を導入するとともに、生徒指導部が中心となり交通安全教育、日々の指導を行っている。

- ③ 商大堺では、農園体験学習（勤労教育）に注力されており、近隣幼稚園や小学校の受入れが行われている。地域に対して、非常に良い取組みであると感じている。今後も地域貢献の一環として、継続して受入れをお願いしたい。

[回答]

勤労教育は、土づくりから田植え、収穫まですべて生徒たちの手で行う。生徒たちにとっては土に触れ、農作物を育てる勤労の意義や厳しさ、収穫の喜びを感じる機会となっている。

地域の園児や小学生が農園体験学習を通して五感で感覚を磨き、五感で感じとることによって「感性」が育まれることを期待している。地域を支える商大堺、地域に愛される商大堺として、今後も農園体験学習など地域との連携事業を推進していく。

(総 評)

大阪商業大学堺高等学校は、地域を支える高校、地域に愛される高校として、地域に根付いている。勤労教育は、生徒の人間形成に大きな役割を果たすとともに、地域貢献の一助となっている。今後とも地域との相互理解を深めより良い関係性を築いていただきたい。

また、アンケート結果からは、生徒一人ひとりと向き合い、熱心に指導されている成果がうかがえる。今後も引き続き、生徒・保護者・教職員、そして地域の満足度がより高くなるよう教育活動に取り組んでいただきたい。

以 上